



2020年7月から11月の間、のべ6回、講演の機会をいただきました。そのうちの2回は、コロナ禍の影響でオンラインでの講演になりました。いずれもその後頂いたアンケートから、考えるきっかけになった、自分もなにかできると自信を持た、などの感想をいただきました。改めて、お招きくださった方々、参加して下さった方々に感謝申し上げます。

7月7日、14日 姫路市男女共同参画推進センター
講演<エンパワメント講座>
糸でつながる
—アジアの女性とフェアトレード—



あいにく7日は朝から大雨。やむなく、講演と併せて販売もさせていただくことになっていたのですが、製品を詰め込んだ大きなスーツケースを載せて車で会場まで走りました。講演で慌ただしい中、販売対応をカバーして下さったのは地元のAWEP会員のNさん。仕事の合間を縫って駆けつけてくれました。講演後、参加者の方とのお話の中で、ボランティアを希望して下さった学生の方、自店舗での販売をご提案して下さった方、本を出すことをお誘い下さった方など、いろんな方のご縁が繋がりました。

10月8日 長田商業高等学校
ワークショップ<ムーンライトセミナー>
フェルトボールでネックレスづくり



地元住民の方々に開かれた場にしたいとのことで、同校ではさまざまなセミナーを開催されています。AWEP会員のT先生からのご紹介で、ワークショップをさせていただくことになりました。内容は、AWEPで利用予定のなかったネパールのフェルトボールを使ったネックレスづくり。正味50分程度という短い時間の中でしたが、参加者全員がネックレスを完成させることができました。



10月14日 龍谷大学
講義 (オンライン)
国際 NGO 論

関西 NGO 協議会から毎年依頼をいただいているジェンダーに関する講義です。今年はオンラインでの開催となり、学生のみなさんとのお言葉や言葉以外の方法でのコミュニケーションが難しくもどかしい思いがしました。しかし、フィードバックの感想から自分自身のことに引き付けて考えられたなどというコメントが多くみられ、今後の学生のみなさんの学びとへとつなげられたのでは感じました。



10月15日 兵庫県立大学
講義 (オンライン)
グローバルヘルス



国際看護を学ぶ方々を対象に、アジアの女性の健康について話してほしいとの依頼をいただきました。将来は国際的に活躍する看護師の卵のみなさんに、何をお話すればよいか、ずいぶん考えましたが、AWEPの取組についてだけではなく、世界の女性の生命や健康がいかに危うい状態におかれやすいのか、人口基金の白書の統計などを使って解説しました。講義後の感想から、自分たちなりに考え、疑問を持ち、保健・看護の視点からできることを模索しようとしていると感じられました。

11月6日 川西市男女共同参画センター
講演
フェアトレードで
アジアの女性の自立を支援する

昨年に続き、同市では2度目の講演でした。講演に先立つ1か月間、製品を展示していただき、フェアトレードのPRにもご協力をいただいています。フェアトレード製品づくりに至った背景、現状、今後の展望などについてお話ししました。女性の貧困の状況がよく分かった、フェアトレードに興味があったので背景も含めて話がきけて良かった、力になれることがあれば参画したい、など、ありがたい反応を頂きました。



- アジアや世界の女性の人権の問題、
 - フェアトレードのこと、
 - 日本の外国人女性のこと
 - などをテーマに講演を承ります。
 - ご依頼お待ちしております。
- (奈良雅美)

ネパール・MKS ハンディクラフトから届きました!

アクセサリやさをり織のランチョンマットが新たに入荷しました

さをり織のマット

さをり織のマットは、シャクティ・サムハのメンバーたちが織ったものです。テーブルに敷くと、食事が楽しくなりそうな色合いです。このランチョンマットは、MKS クラフトのカトマンズの店舗でも取り扱われています。



アクセサリ

アクセサリは MKS が雇用する女性たちが制作しました。革やガラスビーズなどを使っています。ネパールの素材を活用して作られています。アクセサリの他にも、AWEPの定番になっているニット製品も MKS の女性たちが編んでいます。



生産者の紹介

現在、MKS で制作に携わる女性たちのうち3人をご紹介します。



彼女は村で中学校レベルを卒業し、仕事を探してカトマンズに上京し、知り合いを通して MKS のワークショップで働くことになりました。



複雑な家庭環境にあり、Asha Nepal に保護されホステルで生活している頃に Asha Nepal の紹介で MKS にきました。高校に進学してからは一人暮らしを始め、勉強しながら家で商品を作っています。現在大学3年生です。



彼女はもともとシャクティ・サムハにいましたが、一人暮らしを始め、MKS で働くようになりました。主にニット製品を担当しています。現在は家で商品を作ってくれています。

- A ピンクストーンのブレスレット
- B ネコのレザーネックレス
- C シルバーボールのブレスレット
- D ゴウのレザーネックレス
- E レザーブレスレット
- F 水牛の骨ボタンのヘアゴム

◆ 私のお気に入り ◆

エフエムわいわい 日比野 純一さん

食事の時間を楽しくしてくれる
「さをり織り」のランチョンマット



赤を基調色に、緑や橙、青などの糸で織られているランチョンマットを AWEP の奈良さん、鋤柄さんが手にとっているのを見たときに、「わあー、なんと綺麗なマットなんだ」と思わず心の中で叫んでしまいました。

た。クリスマスの日に家の食卓に敷いて食事をしたら、妻もきっと喜んでくれるだろうな、とイメージを膨らませ、お客さんが来たときにも敷けるようにと五枚を購入しました。一枚一枚、微妙に色合いが異なり、五枚を選ぶのがとても楽しい時間でした。

クリスマスを待たずに、食卓にマットを敷いて食事をしていますが、このマットは、ネパールで人身売買の被害にあった女性たちが織った製品であることが、価値を高めてくれています。かつて訪れたことがあるシャクティ・サムハのシェルターで暮らしている女性たちが、「さをり織り」の織り機に向かって楽しそうに製品の説明をしてくれた姿が脳裏に浮かび、少し嬉しい気持ちで食事の時間を過ごすことができます。

◆ ボランティア紹介 ◆ 宮本さん

今年10月にちくちくボランティアを始めました。京都に住んでいますが実家が神戸市垂水区にあり、約2週間おきに通っているのがそのついでに鷹取で途中下車して AWEP に来ています。



他の団体を探していて偶然 AWEP を見つけたのですが、縫製関係の仕事をしていたのでこれなら、と応募しました。

夫の仕事の関係で1994年から2008年までアメリカ、タイとインドネシアに住んでいました。ずいぶん昔のことですがそれぞれの国の人とお話になったことが懐かしく思い出されます。駐在中は3人の子育てに忙しくこのような活動をする余裕がなかったので、微力ながら大好きなアジア女性のお役に立てる機会をいただき嬉しく思っています。

趣味は登山で奈良と京都の山岳会に入っています。夫が今もインドに駐在しているのでコロナ禍までは毎年インドに行っていました。インドヒマラヤのラダックがとても気に入り3年続けて行き、トレッキングもしました。ネパールも昨年4月、ランタン地方にトレッキング旅行に行ったのに、今年現地の人々はどうしているのかとても心配です。これら各国の製品づくりが継続でき、生産者が自立できるよう祈っています。また日本に住んでいる外国出身の人のために何かできることがあればお手伝いしたいです。